

平成24年1月11日  
 独立行政法人森林総合研究所  
 林木育種センター東北育種場

## 材質の優良なスギ品種を開発しました —スギ木材の利用拡大に役立てます—

### 1. 概要

独立行政法人森林総合研究所林木育種センター東北育種場（以下「東北育種場」という）では、強度の高いスギ建築用材（製材・集成材ラミナ・合板）の利用拡大に伴い、より強度の優れた品種系統への需要が高まっていることに対応するため、検定林等における成長や材質特性の調査・評価を行い、材質の優良なスギ品種の開発に取り組んできました。

そして今回、青森県、岩手県、宮城県と連携し太平洋側に適した材質優良スギとして、14品種を開発しました。

これで平成22年度に開発した日本海側に適した2品種とあわせて16品種となりました。

### 2. 開発品種の特徴と開発までの経緯

#### 1) 開発品種の特徴（品種名及び選抜地）

樹種	選抜地	品種名
スギ	青森県	材質優良スギ 精英樹 三戸2号
		材質優良スギ 精英樹 増川4号
		材質優良スギ 精英樹 大間6号
	岩手県	材質優良スギ 精英樹 気仙5号
		材質優良スギ 精英樹 気仙8号
		材質優良スギ 精英樹 田山1号
		材質優良スギ 精英樹 水沢6号
		材質優良スギ 精英樹 一関1号
		材質優良スギ 精英樹 川井1号
		材質優良スギ 精英樹 大船渡4号
	宮城県	材質優良スギ 精英樹 栗原5号
		材質優良スギ 精英樹 白石1号
		材質優良スギ 精英樹 古川6号
		材質優良スギ 精英樹 中新田2号

#### 2) 開発までの経緯

##### ①材質評価方法の開発

平成13年度から平成17年度までの間に、ファコップを用いて立木状態でスギのヤング率を推定できる方法を開発しました。

##### ②材質調査・データ解析

平成18年度から平成21年度までの間に、東北育種場で検定林におけるファコップを用いた材質調査を実施、その調査データを解析し、基準を越えたものを合格木としました。

### ③優良品種としての評価

平成23年11月15日の独立行政法人森林総合研究所林木育種センター優良品種評価委員会で材質等について評価しました。

平成23年12月20日に独立行政法人森林総合研究所林木育種センターが材質優良品種として認定しました。

### 3. 今後の取り組み

強度に優れた建築用材の需要に応えるよう、開発した品種を用いた採穂園や採種園の造成・改良を計画している県への原種の配布を行っていきます。

なお、カラマツについても現在、品種の開発を進めているところです。

また、早期に材質優良品種の普及を図っていくため、ミニチュア採種園への造成などの技術指導も行っています。




#### (用語解説)

- ・ファコップ：樹幹の軸方向にスタートセンサーとストップセンサーを取り付け、スタートセンサーを打撃して応力波を発生させ、センサー間の応力波の伝播速度を測定する機器。
- ・採穂園：さし木苗木の生産に必要なさし穂（小枝）を採取するための樹木園。
- ・採種園：苗木の生産に必要な種子を効率良く採取するための樹木園。
- ・ミニチュア採種園：種子を短期間で生産・供給するための小型の採種園。

担当・連絡先：独立行政法人森林総合研究所  
林木育種センター東北育種場  
育種課：板鼻、織部  
電 話：019-688-4517  
岩手県岩手郡滝沢村字大崎 95

(参考)

材質優良スギ 14 品種（うち各県 1 品種を紹介）

		
<p>精英樹 増川 4 号 (選抜地：青森県) 今回、開発された 14 品種 の中で最も成長が良い品種。</p>	<p>精英樹 川井 1 号 (選抜地：岩手県) 今回、開発された 14 品種 の中で最もヤング率に優れた 品種。</p>	<p>精英樹 白石 1 号 (選抜地：宮城県) 今回、開発された 14 品種 の中でヤング率、成長ともに 優れた品種。</p>